

草木あふれる三千坪の邸内をめぐりながら、 体感し手にして感じる歴史の旅を心ゆくまでお楽しみください。

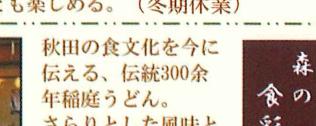
【史跡内設備のご案内】

茶寮あおやぎ



懐かしい旧家のぬくもりの中、お庭を眺めながらお抹茶をいただけるお休み処。オリジナルの青柳ソフトクリームや青柳ぜんざい、クリームソーダなども楽しめる。(冬期休業)

森の食彩館



秋田の食文化を今に伝える、伝統300余年稲庭うどん。さらりとした風味と麺腰の強さをお楽しみください。

ハイカラ館



アンティークな雰囲気の中、コーヒーなどが楽しめる喫茶室。

郷土みやげ販売



伝統工芸品販売

無料体験メニュー

刀・片刀槍の実触 兜体験



籠搔体験 蕃音機再生(不定休)

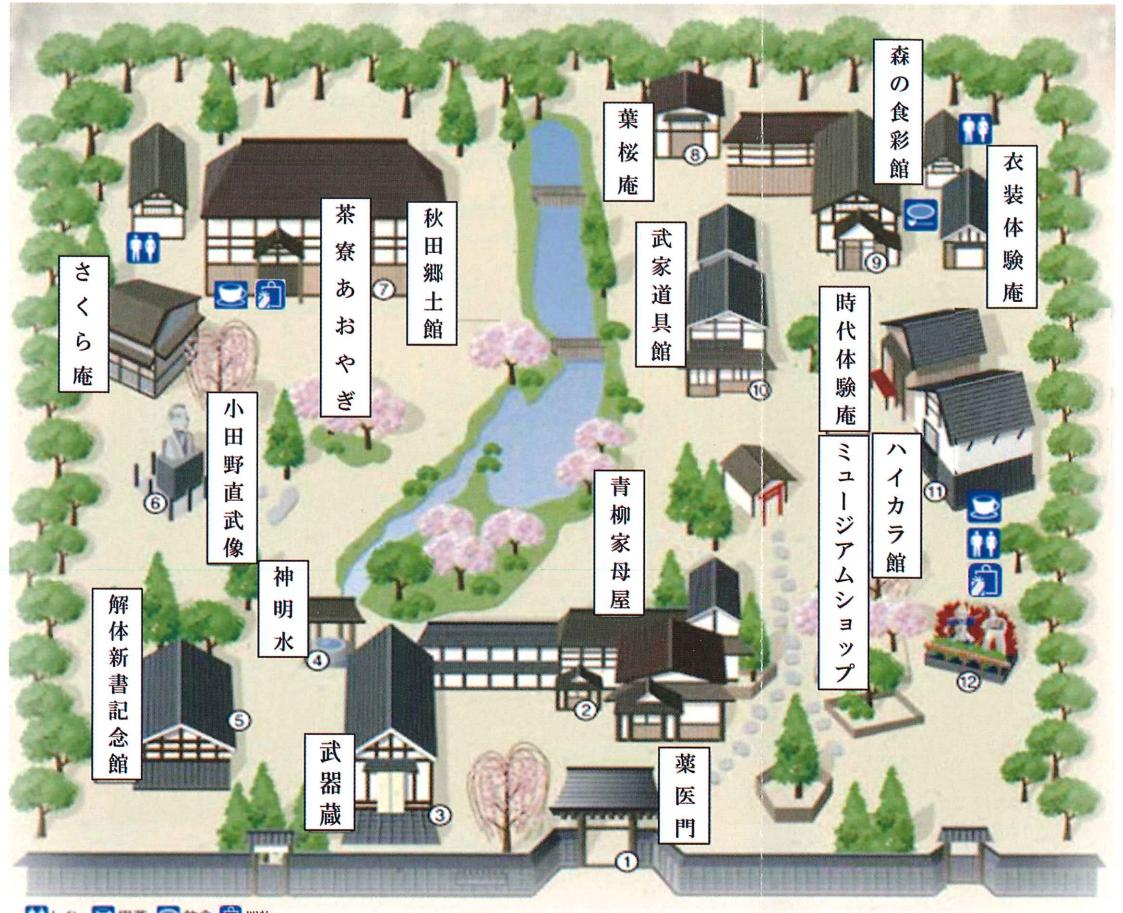
有料体験メニュー

母屋ガイドツアー 500円



きものレンタル 4000円

お抹茶 600円



武家の暮らしを学び、武家の心に触れる。
【武家道具館】 MAP⑥
土蔵を利用した館内には、当時の武士の生活様式を伝える武家道具が並んでいます。青柳家に代々伝わる文献書籍や押絵、焼物、絵皿……。それらの道具たちは、それぞれの時代を懸命に生きた人々の姿を、静かに物語っています。



懐かしきハイカラ文化が目の前に蘇る。
【ハイカラ館】 MAP⑨
平賀源内、小田野直武など角館ゆかりの先人の先取の思想とハイカラ指向を受け継ぐアンティックミュージアム。時代を超えて、研ぎ澄まされた匠の技と造形美を備えた逸品が揃う全国屈指のアンティークコレクションです。



萬延元年、藩への功績が認められ特別に許された青柳家の薬医門。門はその家の位や威信を表すとされていた当時、上級武士にしか許されない重厚で格調高い造りは青柳家の誇りでした。

そして今、その肅とした姿は角館の象徴となり人々の営みを見守り続けています。



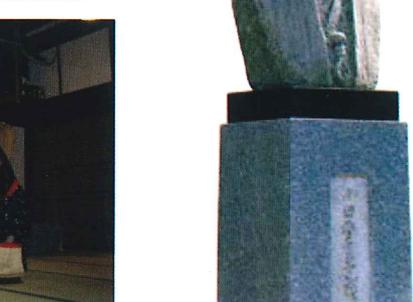
特別公開 母屋内部をガイドがご案内する「母屋探訪ツアーアイ」も開催されています。

武士の魂を宿した鎧兜に息をのむ。
【武器蔵】 MAP⑤
この武器蔵には、青柳家のルーツを伝える貴重な武具や、江戸時代からの文献が収められています。家宝である六十二間小星兜、五輪塔旗印、藤原高真による秋田郷土刀。家の誉れを象徴する数々の武具には、武士としての誇りが宿っています。



わが国初の『解体新書』にスポーツを当てた資料館。
1774年(安政三年)に、日本最初の本格的な西洋医学の翻訳書として発行された『解体新書』の附図、また直武との附図を描いたのが角館出身の武士で青柳家の親戚にあたる小田野直武でした。直武の偉業と『解体新書』の附図、また直武と交流のあった人物の作品を展示了しております。

【小田野直武像】 MAP⑩
青柳家と婚姻関係にある小田野直武は、平賀源内に師事、秋田蘭画を確立し、『解体新書』の挿絵を書き、その名を高めました。西洋の陰影法を取り入れ、後の洋画界に大きな影響を与えた秋田蘭画は、小田野直武とされました。



四〇〇年の歴史を語る武家屋敷。昔名氏の家臣として常陸佐竹氏の国替えにより角館に入った青柳家は昔名断絶後佐竹北家に仕え、南部境目山役を務め、主君の繁栄を支えました。

【青柳家母屋】 MAP②
青柳家母屋は、約二〇〇年前の建築のままに、厄除けの意味を込めた鬼板や懸魚等で意匠をこらした玄関、座敷内の板欄間にほどこされた家紋の透かし彫り、雪国特有の廻り縁など、武家らしい威厳に満ちています。

わが国初の『解体新書』にスポーツを当てた資料館。
1774年(安政三年)に、日本最初の本格的な西洋医学の翻訳書として発行された『解体新書』の附図、また直武との附図を描いたのが角館出身の武士で青柳家の親戚にあたる小田野直武でした。直武の偉業と『解体新書』の附図、また直武と交流のあった人物の作品を展示了しております。

秋田蘭画の創始者
【小田野直武像】 MAP⑩
青柳家と婚姻関係にある小田野直武は、平賀源内に師事、秋田蘭画を確立し、『解体新書』の挿絵を書き、その後の洋画界に大きな影響を与えた秋田蘭画は、小田野直武とされました。

【解体新書記念館】 MAP⑤